



平成30年12月4日
十日町市教育委員会 生涯学習課

平成30年度「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰について

文部科学省では、地域全体で次代を担う子供たちの成長を支え、育成するため、地域と学校が連携・協働し、幅広い地域住民等の参画により地域を創生する活動（地域学校協働活動）に対して大臣表彰を行っています。

今年度、当市では初となる受賞が決定し、次のとおり表彰されましたので、お知らせいたします。

- 1 表彰活動名 中条小学校地域学校協働活動
- 2 表彰関係校 中条小学校
- 3 表 彰 式 日時：平成30年12月3日（月） 午後2時10分～4時45分
会場：文部科学省東館3階講堂（東京都千代田区霞が関3-2-2）
- 4 表彰活動の概要
 - ・歴史的背景をきっかけに始まり22年目を迎えている、岡山県総社市山手小学校との相互交流事業への地域住民の参画
 - ・県内唯一の国宝火焰型土器出土地で開催されている「笹山じょうもん市」に、地域社会の一員としての意識を醸成する為、全校児童が参加していること
 - ・日常的な教育活動に、学校支援ボランティアが講師や学習支援者としてサポートしていること
 - ・学校、地域、公民館、関係団体の協力・連携・支援により、次世代を担う青少年の健全育成と「うまし里（美しい故郷）・中条」づくりに取り組んでいること
- 5 添付資料
 - ・別紙「こんな活動です」（取組事例）

■お問合せ先

十日町市教育委員会 文化スポーツ部生涯学習課

担当：須藤剛浩 ☎025-757-5011（内線 7-24-17）

こんな活動です

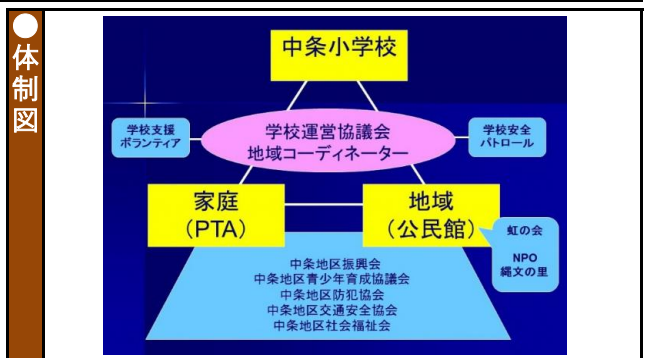
「うまし里・中条」に生きる

～異文化都市間交流・国宝火焰型土器の里・中条小学校は地域とともに～

新潟県十日町市	●活動名 中条小学校地域学校協働活動	●関係する学校名 十日町市立中条小学校
---------	-----------------------	------------------------

協働活動開始年度	平成 29 年度	関係学校数	1 校	のべ学級数	6 学級	のべ児童・生徒数	163 人
活動区分	学校支援活動	地域課題解決学習		地域人材育成			
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数	地域学校協働活動推進員等の数		配置人数		1人	
学校運営協議会	指定・設置日	ボランティアの数	延べ登録人数	企業・NPO等との連携		有	
参考URL	http://www.edu.city.tokamachi.niigata.jp/els/nakajo/						

●連絡先 十日町市教育委員会文化スポーツ部生涯学習課 ☎ 025-757-5011



●活動の概要・経緯

南北朝時代の歴史的背景をきっかけに、平成9年2月から岡山県総社市(旧山手村)山手小学校と新潟県十日町市中条小学校の相互交流事業が始まり、夏冬計44回(うち自然災害により2回中止)実施、参加人数は延べ2,600人を超えている。また、新潟県唯一の国宝、火焰型土器の出土地として、地域づくりと新たな時代づくりを目指して平成12年から開催されている笹山じょうもん市に、中条小学校全校児童が授業日として参加し、地域の活性化に寄与している。いずれも、学校、地域、公民館、関係団体の協力・連携・支援により、次世代を担う青少年の健全育成と「うまし里(美しい故郷)・中条」づくりへの取り組みである。さらに、日常的な教育活動にも学校支援ボランティアが講師、あるいは学習支援者としてサポートしている。縄文学習や笹山縄文太鼓などの郷土・伝統文化学習から、着衣水泳や救命救急法講習など高度・専門分野にまでも幅広い学びにおける貢献は大きい。

●活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

○3つの活動(①学校に入って助けをもらう ②地域に打って出る ③家庭・地域とものつくる)推進・地域の先達や縄文学習への学校支援ボランティアから指導講師を迎えている。地域素材を教材化したり、学習成果発表の場を地域に求めたりして、児童の活躍・成長を見ていただく機会を増やしている。学校行事としての笹山じょうもん市への参加、やまて十日町市中条交流への積極的参加を通して、時中はもちろん事前学習から事後の振り返りまで地域力を借りながら実現している。

【実施に当たっての工夫】

○3つの活動(①学校に入って助けをもらう ②地域に打って出る ③家庭・地域とものつくる)推進・力になりたいとする保護者に呼び掛け、毛筆・裁縫学習への指導補助として協力してもらっている。公民館と連絡を取り合い、相互の学習や活動が活性化に向かう互惠関係の可能性を探っている。笹山じょうもん市ややまて十日町市中条交流に企画段階から児童が参画して地域とともに創り上げていく活動に徐々に近付けている。

また、やまて十日町市中条交流事業実施にあたっての資金援助や人的協力は、虹の会による支援、地域の民俗伝統文化である「ちんころ」づくりによる多額な寄付など、学校、地域が連携協力して支え、笹山じょうもん市では、地域の豊かな文化資源を生かしたまちづくりに、児童自ら参加意識を高めるようにしている。

●地域学校協働活動を実施しての効果・成果

○3つの活動(①学校に入って助けをもらう ②地域に打って出る ③家庭・地域とものつくる)推進・学校教職員にとっては、より専門的な指導や手厚い補助を得ることで、負担軽減にも寄与している。保護者・地域にとっては、児童の笑顔や活躍を目の当たりにする機会が増えている。児童にとっては、郷土愛や人間関係構築力を高める機会となり、三者の協力・連携が好循環に入ってきた。

やまて十日町市中条交流では、児童の交流を核とした中条地区と山手地区の絆と輪が深まり、笹山じょうもん市の参加を通じて児童自身が社会の一員であることを自覚し、「うまし里・中条」づくりに学校と地域が協働で取り組む活動が育まれている。

●その他

○やまて十日町市中条交流実施にあたって、保護者や協賛団体などで設立した「虹の会」が資金援助や人的協力活動を行っている。「中条ちんころ伝承会」は、十日町市の冬の風物詩であるちんころの販売収益のほとんどを寄付してこの事業を支え、地域の民俗文化の継承にも貢献している。



井業「やまて十日町市中条交流大会」の地を学ぶ



練「笹山じょうもん市」の音頭とり。大の坂、天神ばり縄文